

## すぐ死ぬんだから

著者名：内館牧子  
出版者：講談社

78歳の忍ハナは、年を取ることを退化だと考え、美しさや若さを保つ努力を怠らない。『終わった人』の著者が放つ新「終活」小説！

## 愛なき世界

著者名：三浦しをん  
出版者：中央公論新社

恋のライバルが人間だとは限らない！ 洋食屋の青年・藤丸が慕うのは「植物」の研究に一途な大学院生・本村さん。殺し屋のごとき風貌の教授やイモを愛する老教授、サボテンを栽培しまくる「緑の手」をもつ同級生など、個性の強い大学の仲間たちがひしめき合い、植物と人間たちが豊かに交差する——本村さんに恋をして、どんどん植物の世界に分け入る藤丸青年。小さな生きものたちの姿に、人間の心の不思議もあふれ出し……風変りな理系の人々とお料理男子が紡ぐ、美味しくて温かな青春小説。

## 天子蒙塵 第3巻

著者名：浅田次郎  
出版者：講談社



運命に導かれ、それぞれの楽土を目指せ。満洲の怪人・甘粕正彦、男装の麗人・川島芳子、欧州に現れた吉田茂。昭和史最大の事件「日中戦争」前夜、大陸に野望を抱き、夢を掴もうとする者たちが動き出す。そして、希望の光をまとい、かつての英雄が中原のかなたに探し求めた男がついに現れた。その名は一。

## 日傘を差す女

著者名：伊集院静  
出版者：文藝春秋

快晴のクリスマス、都心のビルの屋上で、胸に鉗が刺さった血まみれの老人の遺体が発見された。老人は和歌山県太地町に住む捕鯨船の伝説の砲手と判明。捜査本部は他殺を裏つける物証を得られぬまま、自殺と結論づけた。しかし、その直後、酷似した凶器で殺害された遺体が次々と見つかる。警視庁捜査一課の草刈大毅と立石豊樹のコンビが、赤坂、和歌山、青森で地を這う捜査の果てにつかんだ真相は…。『星月夜』以来、六年ぶりとなる社会派推理小説。

## ボーダレス

著者名：菅田哲也  
出版者：光文社

なんてことのない夏の一日。でもこの日、人生の意味が、確かに変わる。教室の片隅で、密かに小説を書き続けているクラスメイト。事故で失明した妹と、彼女を気遣う姉。音大入試に失敗して目的を見失い、実家の喫茶店を手伝う姉と、彼女との会話を拒む妹。年上の彼女。暴力の気配をまとい、執拗に何者かを追う男。繋がるはずのない縁が繋がったとき、最悪の事態は避けられないところまで来ていた。

## ある日失わずにすむもの

著者名：乙川優三郎  
出版者：徳間書店

ようやく築いた生活とジャズの夢を奪われるマークス／アメリカ。大切な人生の仲間と自負を失うワイン農家のホセ／スペイン。銃をとり、人買いの手から娼婦の妹を守るマルコ／フィリピン。北米、ヨーロッパ、アジアの国々の参戦、そして日本。地球規模のパワーゲームが私たちに強いであろう決断と残懐。小説には力があると信じられる12巻！

## 歪んだ波紋

著者名：塩田武士  
出版者：講談社

「誤報」にまつわる5つの物語。新聞、テレビ、週刊誌、ネットメディア—昭和が終わり、平成も終わる。気づけば私たちは、リアルもフェイクも混じった膨大な情報に囲まれていた。その混沌につけ込み、真実を歪ませて「革命」を企む「わるいやつら」が、この国で蠢いている。松本清張は「戦争」を背負って昭和を描いた。塩田武士は「情報」を背負い、平成と未来を描く。全日本人必読。背筋も凍る世界が見えてくる。

## ブロードキャスト

著者名：湊かなえ  
出版者：KADOKAWA

町田圭祐は中学時代、陸上部に所属し、駅伝で全国大会を目指していたが、3年生の最後の県大会、わずかの差で出場を逃してしまふ。その後、陸上の強豪校、青海学院高校に入学した圭祐だったが、ある理由から陸上部に入ることを諦め、同じ中学出身の正也から誘われてなんとなく放送部に入部することに。陸上への未練を感じつつも、正也や同級生の咲楽、先輩女子たちの熱意に触れながら、その面白さに目覚めていく。目標はラジオドラマ部門で全国高校放送コンテストに参加することだったが、制作の方向性を巡って部内で対立が勃発してしまふ。果たして圭祐は、新たな「夢」を見つけれられるか。

## 蝶のゆくへ

著者名：葉室麟  
出版者：集英社

「蝶として飛び立つあなた方を見守るのがわたしの役目」と語る校長巖本善治のもと、北村透谷や島崎藤村、勝海舟の義理の娘クララ・ホイットニーらが教師を務め、女子教育の向上を掲げた明治女学校。念願叶って学び舎の一員となった星りょう（後の相馬黒光）は、校長の妻で翻訳家・作家として活躍する若松賤子、従妹の佐々城信子、作家の樋口一葉、翻訳家の瀬沼夏葉をはじめ、自分らしく生きたいと願い、葛藤する新時代の女性たちと心を通わせていく

## 破蕾

著者名：冲方丁  
出版者：講談社

許されざる逢瀬に興じる男女の、狂気と艶美の悦び一。旗本の屋敷を訪ねたお咲。待ち受けていたのは、ある女に言い渡された「市中引廻し」を身代わりで受けるという恐ろしい話だった…（「咲乱れ引廻しの花道」）夫の殺害を企てるも不首尾に終わり、牢に囚われた女。高貴な血筋の女。「わたくしの香りをお聞きください」身の上話を、ぼつりぼつりと一。（「香華灯明、地獄の道連れ」）書き下ろし新作『別式女、追腹始末』も収録！

## ルーム・オブ・ワンダー

著者名：ジュリアン・サンドレル  
出版者：NHK出版

デビュー作で一躍フランスのベストセラーに躍り出た話題の書。シングルマザーのテルマは、昏睡状態の息子・ルイに生きる希望を与えるため、ルイの“やってみたいことリスト”を実行していく。やがてテルマの行動は周囲の人々を勇気づけ、テルマ自身をも変えていく——。スピード感溢れる笑いと涙の痛快小説。

## 「腰痛を治す！」お得技ベストセレクション

著者名：O  
出版者：晋遊舎

国民の悩みである「腰痛」を手軽に解消できる魔法のメソッドを紹介

## スタンフォード式疲れない体

著者名：山田知生  
出版者：サンマーク出版

体をほぐすだけでなく、筋肉を鍛えるのではなく、体内の圧力を高める。人体のメカニズムにそった、絶対的リカバリーをもたらすコンディショニング・アプローチ。スポーツ医学の回復知見を全集約。今ある疲れは解消し、明日の疲労は予防する—知られざるスタンフォードの回復理論を完全網羅・初公開！

## あいことばは名探偵

著者名：杉山亮  
出版者：偕成社

「うふふとわらってつかまえる」とおなじみ怪盗ムッシュの登場する「ぶたぶたまつり」の2つの事件を収録。

## 風の払暁

著者名：船戸与一  
出版者：新潮社

霊南坂の名家に生を受けた敷島四兄弟は、異なる道を歩んだ。奉天総領事館に勤務する外交官、太郎。満州で馬賊を率いる、次郎。関東軍の策謀に関わる陸軍小尉、三郎。左翼思想に共鳴する早大生、四郎。昭和三年六月、奉天近郊で張作霖が謀殺された。そして時代の激流は彼ら四人を呑みこんでゆく。「王道楽土」満州国を主舞台に、日本と戦争を描き切る、著者畢生の大河オデッセイ。

## 群狼の舞

著者名：船戸与一  
出版者：新潮社

昭和七年三月、満州国建国。面接約百三十万km<sup>2</sup>、人口約三千四百万、新京を国都とし、最後の皇帝溥儀を執政に迎えた。国の建設に胸を躍らせる太郎。金銭で請け負った荒仕事をこなす次郎。「憲兵隊の誇り」と称えられ、妻をも得た三郎。さらなる罪を犯し、大陸を流浪する四郎。日本人は新天地にどのような夢を託したのか。産声を上げたばかりの国家の実相、そして熱河侵攻を描く、第三巻。

## 老後の資金がありません

著者名：垣谷美雨  
出版者：中央公論新社



「老後は安泰」のはずだったのに！後藤篤子は悩んでいた。娘の派手婚、舅の葬式、姑の生活費…しっかり蓄えた老後資金はみるみる激減し、夫婦そろって失職。家族の金難に振り回されつつ、やりくりする篤子の奮闘は報われるのか？ふりかかる金難もなんのその、生活の不安に勇気とヒントをあたえる家計応援小説。

## 子育てのイライラがスーっと消える魔法の絵本

著者名：加藤史子  
出版者：学研プラス

この魔法があれば、あなたの子育ては、今のままでも大丈夫！イライラの傾向がわかる、タイプ診断つき。

## まるまるぽぽぽん

著者名：柏原晃夫  
出版者：学研プラス

生後6か月未満の赤ちゃんでも、黒白を生かしたコントラストの強い配色の絵に注目し、「顔」に見える形の絵を好むことが知られています。まずは、コントラストの差を刺激として感じることで、初めての「見る」体験を楽しめます。また「丸」は赤ちゃんが認識しやすい形です。赤ちゃんの目から20センチくらいの位置で見せてあげてください。

## 花だより

著者名：高田郁  
出版者：角川春樹事務所

灣が大坂に戻ったのち、文政五年（一八二二年）春から翌年初午にかけての物語。店主・種市とつる家の面々を廻る、表題作「花だより」。灣のかつての想いごと、御膳奉行の小野寺数馬と一風変わった妻・乙緒との暮らしを綴った「涼風あり」。あさひ太夫の名を捨て、生家の再建を果たしてのちの野江を描いた「秋燕」。灣と源齊夫婦が危機を乗り越えて絆を深めていく「月の船を漕ぐ」。

## 事変の夜

著者名：船戸与一  
出版者：新潮社

昭和六年九月十八日、満州事変勃発。満蒙領有方針に共鳴する敷島三郎憲兵中尉と、外交官としての本分を守ろうとする敷島太郎参事官が対立する。阿片中毒を癒しつつ四郎は中国人街に身を沈めており、次郎は特務機関に協力することとなった。朝鮮人の一斉蜂起。帝都で燃えるクーデター計画。そして、上海では海軍陸戦隊と十九路軍が激突する。大陸各地で弾ける戦火を描く、第二巻。

## 炎の回廊

著者名：船戸与一  
出版者：新潮社

溥儀を皇帝に祭り上げ、帝政へ移行した満州国。だが楽土の風はそよとも吹きはしない。抗日連軍に参じた中国人や金日成を奉ずる朝鮮人がゲリラ戦を仕掛ける。蒙古、ロシア、ユダヤ、インド、民族の野心が地に蟠る。歴史の最前線で、敷島四兄弟はそれぞれの間に抗いながら日々を重ねてゆく。遙かなる帝都を震撼させた二・二六事件。その報に揺れる大陸の日本人たちを描く、第四巻。

## 灰塵の暦

著者名：船戸与一  
出版者：新潮社

満州国国務院へ出向した敷島太郎。抗日ゲリラの殲滅を続ける次郎。三郎は関東軍が細菌戦を準備していることを知り、四郎は謎めく麗人に心を乱される。岸信介ら新官僚の到来と大移民計画に沸く満州。その南、中国では軍人たちが功を急ぎ、兵を突き進ませてゆく。昭和十二年、日中は全面对決へ。戦火は上海から南京へ燃え広がる。敷島兄弟が目撃したこの世の地獄とは。戦慄の第五巻。

## 雷の波濤

著者名：船戸与一  
出版者：新潮社

昭和十五年、ドイツは電撃戦により、フランスを征服。帝国陸軍はすかさず北部仏印に進駐した。敷島次郎は独立を志すインド女性の戦闘訓練を請け負い、四郎は満映作品の取材中に人工国家の綻びを目撃する。太郎は心ならずもある謀殺に加担し、三郎は憲兵としてマレー進攻作戦に同行することに。太平洋戦争開戦、南進の成功に沸きたつ日本人と次第に増幅してゆく狂気を描く、第七巻。

## 残夢の骸

著者名：船戸与一  
出版者：新潮社

敷島兄弟は通化の地に集う。苦い再会だった一。満州国はわずか十三年で理想の欠片さえ失い、重い鉄鎖と化した。昭和二十年八月九日、ソ連軍が遂に侵攻を開始する。轟音とともに崩壊してゆく「王道楽土」。男たちは吹きすさぶ風の中で自らの運命と対峙する。日本そして満州、二つの帝国が破れ、残ったものとは何か。船戸与一が最期の炎を燃やし描き切った大叙事詩、ここに完結。

## 政界汚染

著者名：濱嘉之  
出版者：文藝春秋

次点から繰上当選した参議院議員の周辺で、次々と関係者が死んでいく。ある男は右腕が川に浮かび、ある男は不自然な交通事故に一。警視庁公安部警部・青山望の前に現れたのは、選挙ブローカー、刀匠、中国人鍼灸師、暴力団…。彼らが大きな権力の一点に結び付く。徹底的にリアルさにこだわった文庫書き下ろしシリーズ第二弾。

## 機密漏洩

著者名：濱嘉之  
出版者：文藝春秋

長崎・平戸に中国人5人の射殺体が難波船に乗って漂着した。船内には元自衛官の指紋が。麻布署警備課長の青山は、同期たちと情報を共有し、日本の原発技術から永田町までをも巻き込んだ中国国内の大きな権力闘争に気付く。そして浮上する意外な共犯者、流出する機密…。どこまでもリアルな書き下ろし警察小説シリーズ第4巻。

## 大地の牙

著者名：船戸与一  
出版者：新潮社

「帝国政府は爾後国民政府を相手とせず」。日本は中国との交渉の道を自ら鎖した。徐州、武漢での作戦を成功させたものの、「事変」は泥沼化の一途を辿る。敷島太郎は愛人の身体に溺れ、次郎は柳絮のごとく彷徨い続ける。三郎は復讐に身を焦がし、四郎は陰謀の犠牲者を茫然と見つめた。そして、満蒙国家ノモンハンで旧ソ軍が激突する。大陸に凱歌と悲鳴が轟く。混沌の第六巻。

## 南冥の雫

著者名：船戸与一  
出版者：新潮社

本土初空襲とミッドウェー大敗。それは帝国の翳り。四郎は比島で抗日ゲリラの憤怒を体感した。少佐となった三郎は変転する戦を見つめ、太郎は自らの罪過が招いた惨劇に震えた。そして敷島次郎は劣弱な囚人部隊を率い、インパール作戦に加わる運命にあった。若き日駆け抜けた満州、彼の地より遠く離れた緑の地獄で男は何を想うのか。食い破られてゆく絶対国防圏。白骨連なる第八巻。

## 完全黙秘 警視庁公安部・青山望

著者名：濱嘉之  
出版者：文藝春秋

財務大臣が刺殺された。犯人は完全黙秘。身元不明のまま起訴される。特命の極秘捜査にあたる警視庁公安部警部・青山望が突き当たったのは、政治家と暴力団、芸能界が絡み合う壮大な「戦後の闇」だった。捜査手法、情報戦の実態など公安出身者にしか書けない圧倒的なリアリティで描く、インテリジェンス警察小説の新シリーズ。

## 報復連鎖

著者名：濱嘉之  
出版者：文藝春秋

大間からマグロとともに築地市場に届いた氷詰めの死体。麻布署警備課長に異動した青山は、同期の築地署刑事課長・龍に協力して情報収集するが、見えてきたのは新宿で凶暴化する「半グレ」元暴走族グループ、チャイナマフィアが絡みつく裏社会の報復…。日本社会の隙を世に問う、インテリジェンス警察小説シリーズ第3弾。

## 濁流資金

著者名：濱嘉之  
出版者：文藝春秋

仮想通貨取引所の社長が銃殺された。人事異動で警視庁公安部に復帰した青山望は、同期カルテットと共に事件を追うが、同時に政財界のホープが次々と不審死する事件が発生する。やがて青山は二つの事件の背後に、日本の表と裏の権力者たちによる壮大な陰謀の存在を察知する。公安捜査のリアルを描く大人気のシリーズ最新作！

**爆裂通貨**

著者名：濱嘉之  
出版者：文藝春秋

累計97万部突破、書下ろしシリーズ第11弾！ハロウィンの渋谷を仮装強盗団が爆破！ATM強奪殺人の影に国際謀略が——ハロウィンの渋谷で、マリオの仮装で見事な行進をする集団が注目を集めていた。直後にATM爆破と殺人事件が同時多発！しかもハワイでも——これは国際テロの予兆なのか？警視庁公安部のエース青山望が、同期カルテットと共に辣腕を発揮。日本の隙に忍び寄る北朝鮮の影を追う！公安を知りすぎた著者の迫真シ

**キャパの十字架**

著者名：沢木耕太郎  
出版者：文藝春秋

史上もっとも高名な報道写真、「崩れ落ちる兵士」。しかし、やがて崩壊するスペイン共和国の運命を予告したこの写真には数多くの謎が残された。これはいつなのか。ここはどこなのか…。キャパとその恋人、ゲルダの足跡を追う世界各地への「旅」の末、明らかになった衝撃の真実とは。第17回司馬遼太郎賞受賞作。

**眠れぬ真珠**

著者名：石田衣良  
出版者：新潮社

出会いは運命だった。17も年下の彼に、こんなにも惹かれてゆく。孤高の魂を持つ、版画家の咲世子。人生の後半に訪れた素樹との恋は、大人の彼女を、無防備で傷つきやすい少女に変えた。愛しあう軟びと別離の予感が、咲世子の中で激しくせめぎあう。けれども若く美しいライバル、ノアの出現に咲世子は…。一瞬を永遠に変える恋の奇蹟。熱情と抒情に彩られた、最高の恋愛小説

**戦後70年日本人の証言**

著者名：〇  
出版者：文藝春秋

敗戦の焦土から立ち上がり、日本人はいかにして戦後の日本を作り上げたのか。東京裁判、安保闘争、高度成長、美智子妃ご成婚、新幹線開通、東京五輪、大阪万博、バブル崩壊…本邦初となる貴重な証言を交え、昭和・平成70年間の歩みを超豪華執筆陣が描く。月刊「文藝春秋」名特集を堂々文庫化！高倉健「最期の手記」を特別収録。

**定年後 50歳からの生き方、終わり方**

著者名：楠木新  
出版者：中央公論新社

自営業などを除けば誰もがいつか迎える定年。社会と密接に関わってきた人も、組織を離れてしまうと、仕事や仲間を失って孤立しかねない。お金や健康、時間のゆとりだけでは問題は解決しない。家族や地域社会との良好な関係も重要だ。第二の人生をどう充実させたらよいのか。シニア社員、定年退職者、地域で活動する人たちへの取材を通じ、定年後に待ち受ける「現実」を明らかにし、真に豊かに生きるためのヒントを提示する。

**テロルの決算 新装版**

著者名：沢木耕太郎  
出版者：文藝春秋

ひたすら歩むことでようやく辿り着いた晴れの舞台で、61歳の野党政治家は、生き急ぎ死に急ぎ閃光のように駆け抜けてきた17歳のテロリストと、激しく交錯する。社会党委員長の浅沼稻次郎と右翼の少年山口二矢。1960年、政治の季節に邂逅する二人のその一瞬を描くノンフィクションの金字塔。新装版「あとがき」を追加執筆。大宅壮一ノンフィクション賞受賞作。

**キャパへの追走**

著者名：沢木耕太郎  
出版者：文藝春秋

トロツキー、スペイン戦争、ノルマンディー上陸作戦…。数々の傑作を遺した戦場写真家、ロバート・キャパ。故国ハンガリーを離れてからインドシナで最期を迎えるまで、四十年の激しい生涯の中で撮影した現場を著者は探索し、彼の見た光景を追体験する。永年のキャパへの憧憬を締めくくる傑作ノンフィクション。

**ウララ町のうらかな日**

著者名：佐藤愛子  
出版者：新潮社

北海道ウララ町に住む徳太郎は、母の遺骨を探しに行ったまま戻ってこない。キツネに憑かれたヨシは、やっこの思いでキツネを落としてもらったものの、これから1人でどうやって生きていったらいいかわからない。77歳の義太郎はコルク栓のように耳垢がとれて、耳が聞こえるようになった…。霧深いウララ町に展開するウララ人たちの愛しく哀しいドラマ。

**天鷲絨物語**

著者名：林真理子  
出版者：光文社

裕福な家庭で育ち、初恋の相手泰治と婚約した品子は幸せの絶頂にあった。だが結婚後も夫の心は気高く美しい大使令嬢の真津子に向いていた。妻にも祝福される恋をしたい。そんな泰治の理不尽な求めにも素直に従い、品子はひたむきに愛を貫く。昭和初期の華やかな上流社会を舞台に、男性に翻弄されつつも、逞しく成長する一人の女性の生き様を描いた長編小説。

**ショーシ君の「料理大好き！」**

著者名：東海林さだお  
出版者：文藝春秋

魚をおろすのが何よりの趣味のショーシ君が、仲間とともにうなぎのカバ焼きや手造りソーセージに挑戦した、クッキングブック。カツオのたたきならぬ「たたかず」、鉄火丼ならぬ「銀火丼」、超スピード料理(?)など、ユニークなレシピの数々も登場します(失敗談も)。たっぷりイラストも収録。長らく待たれていた、名著の復刊です！